

テーマ	橋梁の長寿命化
事業分野	道路－維持管理運用

# 自治体の橋梁長寿命化修繕計画策定

## 目的

高度経済成長期に膨大に建設された橋梁の多くは、今後更新時期を迎え、更新費用の集中化が予想されています。また、道路行政に対する住民ニーズも多様化しており、その機能・役割を明確にしたうえで、より合理的かつ効率的に橋梁の維持・更新を行うことが求められています。

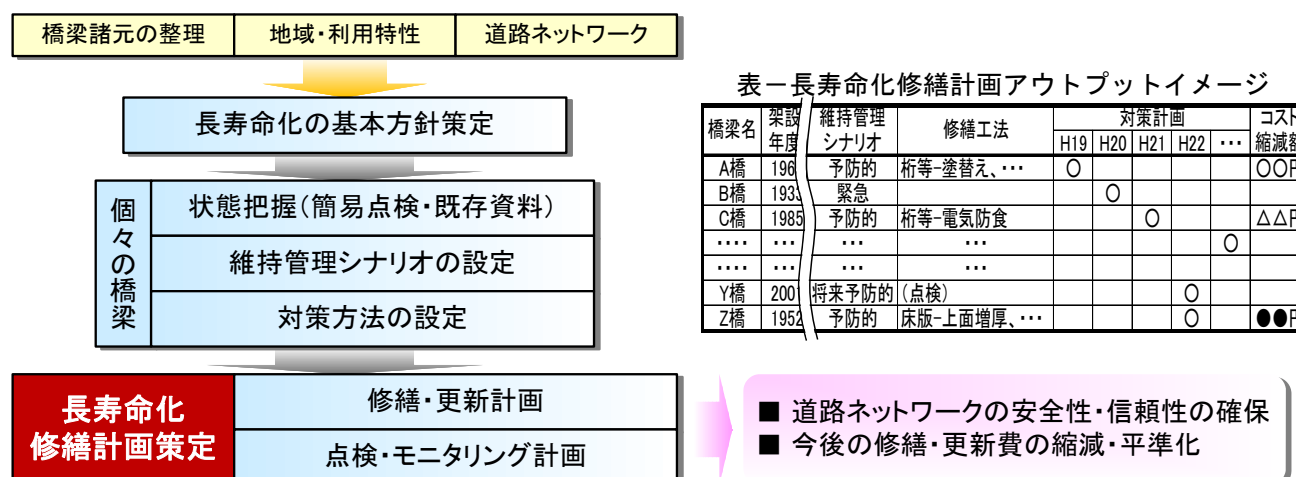
そこで、自治体が管理する道路橋について、これまでの対症療法的な修繕・更新から予防的な修繕へ転換し、橋梁の長寿命化を目指した「長寿命化修繕計画」を策定します。

上記のような状況のもと、国土交通省において「長寿命化修繕計画策定事業」が創設され、平成 19 年度から 5 年間<sup>※1</sup>に長寿命化修繕計画を策定する自治体に対し計画策定費用の補助を行うこととしており、さらに、平成 24 年度<sup>※2</sup>以降は、修繕・架替えへの補助は当該計画に基づくものに限定するとしています。

このようなことから「長寿命化修繕計画」を策定することは、自治体にとって必要性の高いものと認識します。

※1：市町村は 7 年間 ※2：市町村は平成 26 年度以降

## 内容



日本工営株式会社

お問合せ

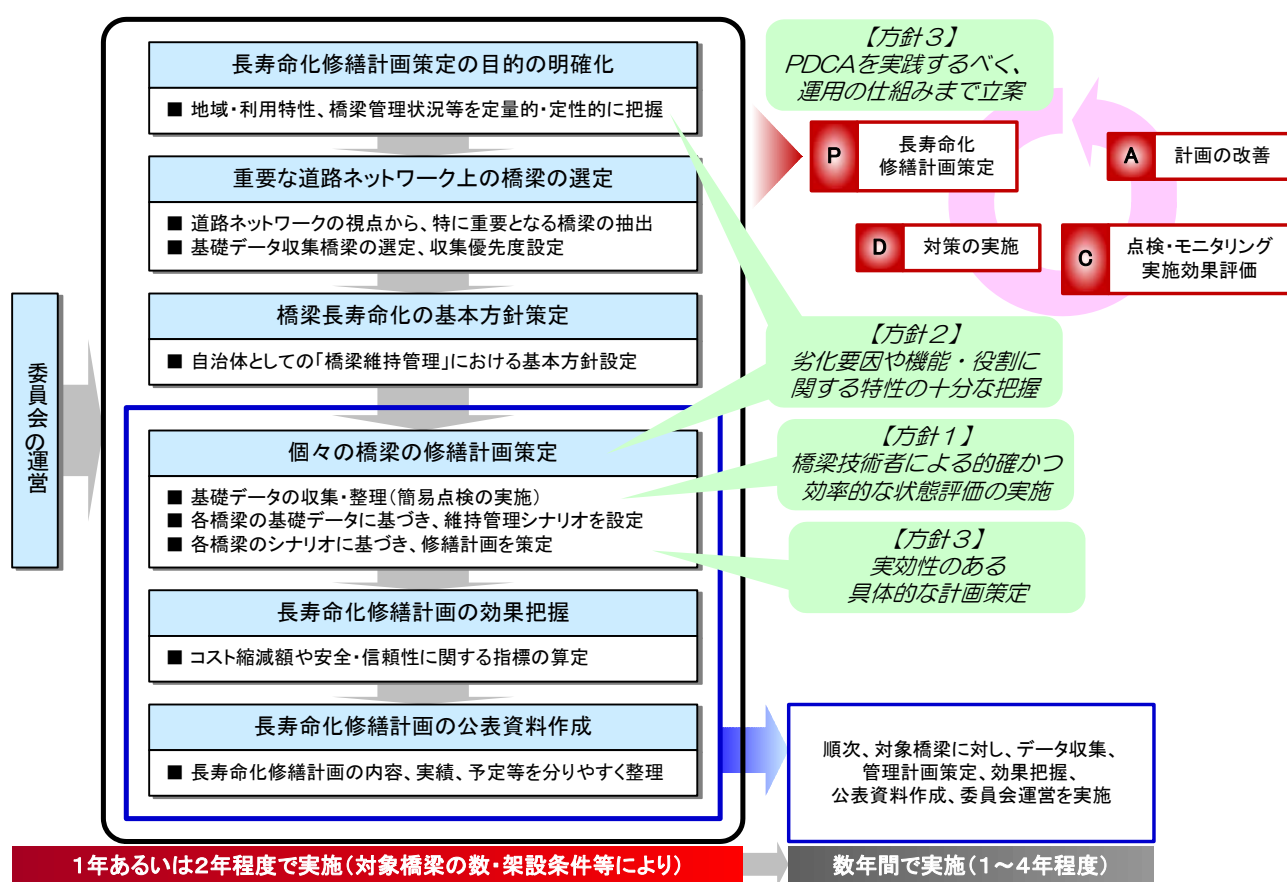
内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

## 技術ポイント

- 多くの橋梁点検や構造物診断の実績を有する技術者により、**的確でかつ効率的な橋梁の状態評価（現地での簡易点検、健全度評価）**を行います。 ⇒ **【方針1】**
- 地域特性・架設環境など**劣化要因や機能・役割に関する特性を十分に把握**したうえで長寿命化修繕計画を策定します。 ⇒ **【方針2】**
- **実効性のある具体的な計画**とするため、修繕内容・時期の設定だけではなく、今後の**点検・モニタリング計画、運用の仕組み（PDCAを実践）**まで立案します。 ⇒ **【方針3】**

## 事業の流れ[当社の実施範囲]



## 補助メニュー等

- ◆ 橋梁等のリスクマネジメントの構築
  - ⇒地震発生時に緊急輸送路の機能を確保するため、どのようなリスクをどの程度抱えているかを把握・評価し、補修の優先順位を評価します。
- ◆ コンクリート構造物の簡易診断
  - ⇒劣化診断ソフト、簡易診断BOX、簡易塩分測定などにより、効率的で簡易に構造物を調査・診断いたします。